

2026年度 第1四半期 クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.



- サマリー
- 2026年度 第1四半期実績
- 2026年度 業績予想
- トピックス
- 参考資料

サマリー

◆第1四半期は前年同期比で増収増益

ライフラインと産業建設資材が好調に推移し売上高は290億円（前年同期比+6.0%）、営業利益は18億円（同+67.1%）、純利益は22億円（同+46.5%）となった

◆通期業績予想の上方修正

受注・売上の好調と収益性改善施策の継続により、売上高1310億円（当初計画比+0.8%）営業利益85億円（同+6.3%）、純利益75億円（同+4.2%）に上方修正

◆自己株式の取得

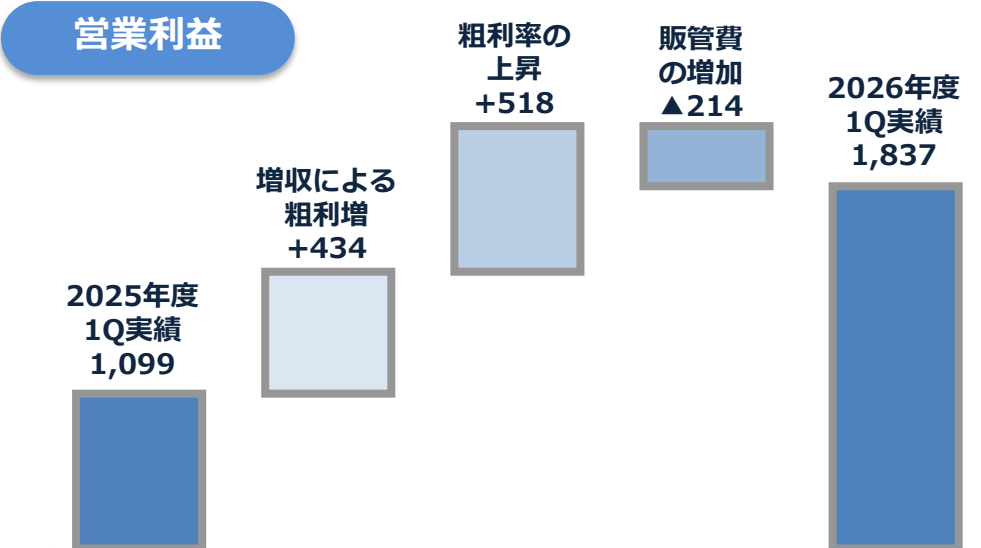
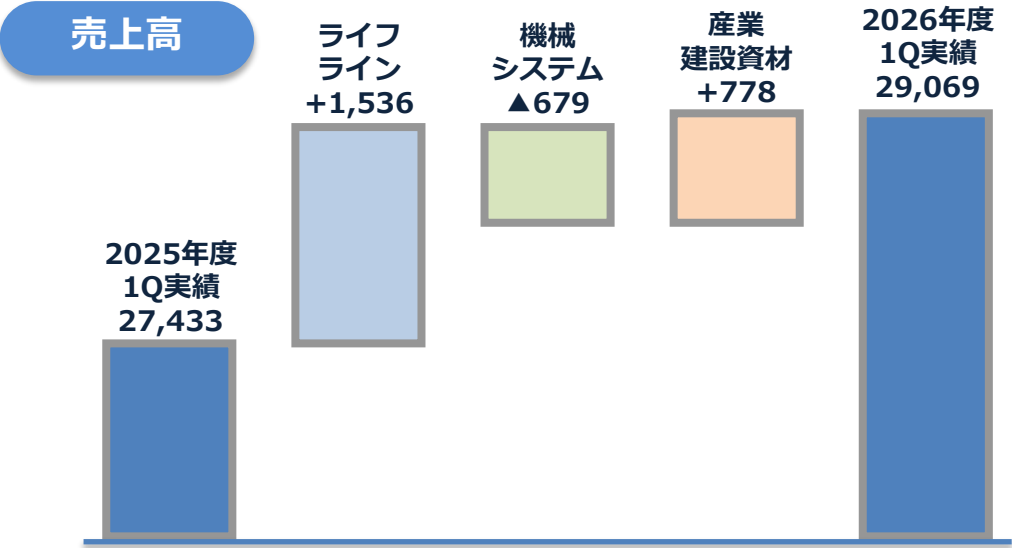
上限350万株・50億円の自己株式取得を決議し、2027年1月に全数消却予定
資本効率向上と株主還元強化を図る

2026年度 第1四半期実績

<連結>

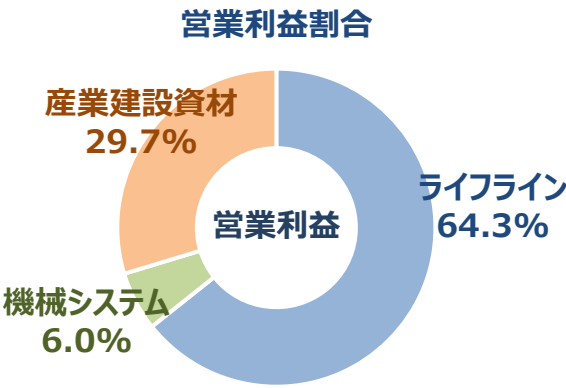
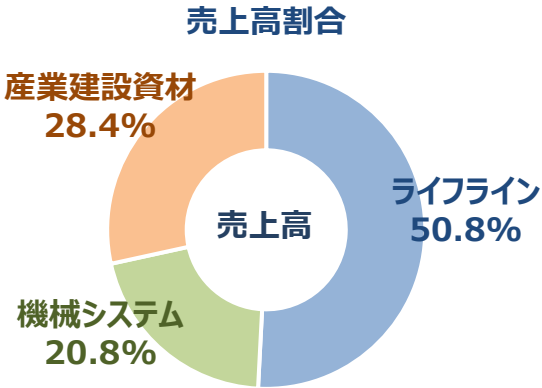
(単位：百万円)

	2025年度 1Q実績 (A)		2026年度 1Q実績 (B)		前年比 (B - A)	増減率	2026年度 修正上期予想		2026年度 修正通期予想	
売上高	27,433	-	29,069	-	+1,635	+ 6.0 %	60,000	-	131,000	-
営業利益/率	1,099	4.0%	1,837	6.3%	+737	+67.1%	3,400	5.7%	8,500	6.5%
経常利益/率	1,030	3.8%	1,805	6.2%	+774	+75.2%	3,500	5.8%	8,600	6.6%
当期純利益/率	1,559	5.7%	2,284	7.9%	+725	+46.5%	3,100	5.2%	7,500	5.7%



(単位：百万円)

		2025年度 1Q実績 (A)	2026年度 1Q実績 (B)	前年比 (B－A)	増減率	2026年度 修正 上期予想	2026年度 修正 通期予想
ライフライン	売上高	13,237	14,773	+1,536	+11.6%	30,900	68,500
	営業利益	589	1,305	+716	+121.6%	2,100	5,250
	(率)	4.4%	8.8%	+4.4pts	－	6.8%	7.7%
機械システム	売上高	6,711	6,032	▲679	▲10.1%	13,500	27,000
	営業利益	419	122	▲297	▲70.9%	500	1,200
	(率)	6.2%	2.0%	▲4.2pts	－	3.7%	4.4%
産業建設資材	売上高	7,484	8,263	+778	+10.4%	15,600	35,500
	営業利益	414	602	+187	+45.4%	1,000	2,750
	(率)	5.5%	7.3%	+1.8pts	－	6.4%	7.7%



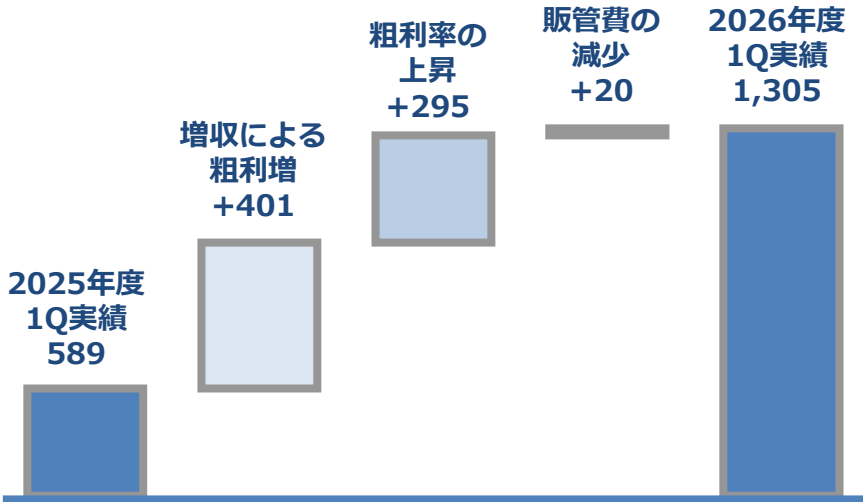
※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2025年度 1Q実績 (A)	2026年度 1Q実績 (B)	前年比 (B－A)	増減率	2026年度 修正上期予想	2026年度 修正通期予想
売上高	13,237	14,773	+1,536	+11.6%	30,900	68,500
営業利益	589	1,305	+716	+121.6%	2,100	5,250
(率)	4.4%	8.8%	+4.4pts	—	6.8%	7.7%

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブシステム部門において減収したものの、パイプシステム部門および関係会社において出荷が好調であることにより前年同期比1,536百万円の増収

営業利益

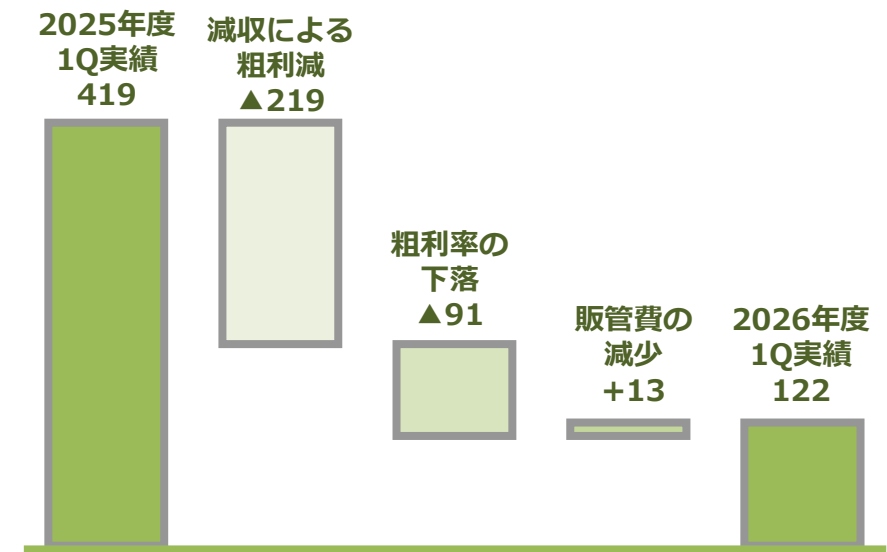
増収による利益増や販売管理費の減少により前年同期比716百万円の増益

機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2025年度 1Q実績 (A)	2026年度 1Q実績 (B)	前年比 (B－A)	増減率	2026年度 修正上期予想	2026年度 修正通期予想
売上高	6,711	6,032	▲679	▲10.1%	13,500	27,000
営業利益	419	122	▲297	▲70.9%	500	1,200
(率)	6.2%	2.0%	▲4.2pts	—	3.7%	4.4%

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門においてお客様の発注時期の遅れに伴い進行基準売上高が減少したことなどにとり、前年同期比679百万円の減収

営業利益

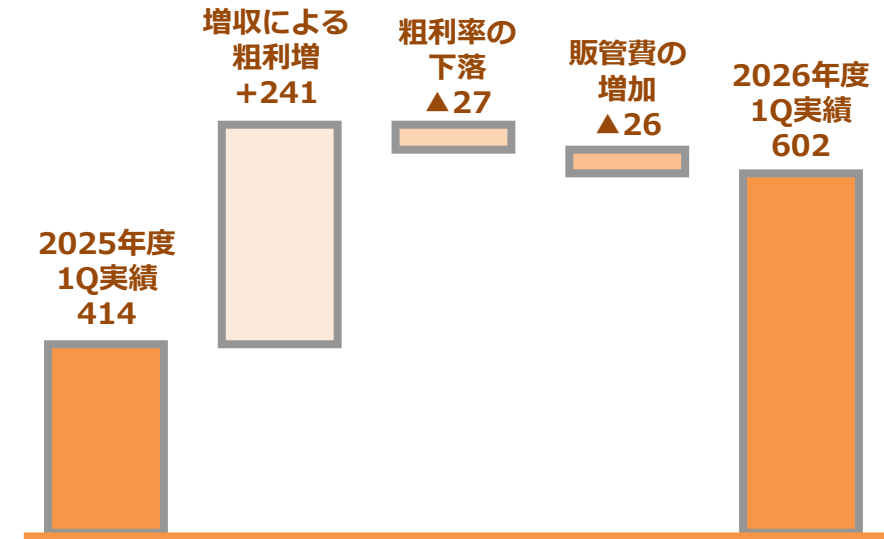
減収による利益減により前年同期比297百万の減益

産業建設資材システムセグメント

(単位：百万円)

	2025年度 1Q実績 (A)	2026年度 1Q実績 (B)	前年比 (B－A)	増減率	2026年度 修正上期予想	2026年度 修正通期予想
売上高	7,484	8,263	+778	+10.4%	15,600	35,500
営業利益	414	602	+187	+45.4%	1,000	2,750
(率)	5.5%	7.3%	+1.8pts	—	6.4%	7.7%

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

化成品部門において電力分野および下水分野の販売が好調に推移したことに加え、関係会社において大型物件の納入が進んだことなどにより前年同期比778百万円の増収

営業利益

増収による利益の増加などにより前年同期比187百万円の増益

2026年度 業績予想

2026年度 業績予想の修正



◆ ライフラインセグメントおよび産業建設資材セグメントでの受注・売上が堅調に推移していることに加え、収益性改善施策の進展や生産性向上による利益率改善効果が引き続き見込まれることから、上期・通期ともに前回公表時点の予想を上回る見通し

<連結> (単位：百万円)

対 期初予想比	上期						通期					
	2026年度 当初上期予想 2026.5.14公表 (A)		2026年度 修正 上期予想 2026.8.6公表 (B)		増減額 (B－A)	増減率 (%)	2026年度 当初通期予想 2026.5.14公表 (C)		2026年度 修正 通期予想 2026.8.6公表 (D)		増減額 (D－C)	増減率 (%)
売上高	59,000	－	60,000	－	+1,000	+1.7%	130,000	－	131,000	－	+1,000	+0.8%
営業利益/率	2,700	4.6%	3,400	5.7%	+700	+25.9%	8,000	6.2%	8,500	6.5%	+500	+6.3%
経常利益/率	2,600	4.4%	3,500	5.8%	+900	+34.6%	7,800	6.0%	8,600	6.6%	+800	+10.3%
当期純利益/率	2,600	4.4%	3,100	5.2%	+500	+19.2%	7,200	5.5%	7,500	5.7%	+300	+4.2%

対 前年実績比	2025年度 上期実績 (A)		2026年度 修正 上期予想 2026.8.6公表 (B)		増減額 (B－A)	増減率 (%)	2025年度 通期実績 (C)		2026年度 修正 通期予想 2026.8.6公表 (D)		増減額 (D－C)	増減率 (%)
売上高	58,453	－	60,000	－	+1,547	+2.6%	128,126	－	131,000	－	+2,874	+2.2%
営業利益/率	3,185	5.4%	3,400	5.7%	+215	+6.7%	8,059	6.3%	8,500	6.5%	+441	+5.5%
経常利益/率	3,313	5.7%	3,500	5.8%	+187	+5.6%	8,319	6.5%	8,600	6.6%	+281	+3.4%
当期純利益/率	3,015	5.2%	3,100	5.2%	+85	+2.8%	6,701	5.2%	7,500	5.7%	+799	+11.9%

2026年度 業績予想の修正（セグメント別）



<連結>

（単位：百万円）

		上期						通期					
	対 期初予想比	2026年度 当初上期予想 (A)		2026年度 修正上期予想 (B)		増減額 (B－A)	増減率	2026年度 当初通期予想 (C)		2026年度 修正通期予想 (D)		増減額 (D－C)	増減率
ライフライン	売上高	29,900	－	30,900	－	+1,000	+3.3%	67,500	－	68,500	－	+1,000	+1.5%
	営業利益/率	1,700	5.7%	2,100	6.8%	+400	+23.5%	4,950	7.3%	5,250	7.7%	+300	+6.1%
機械システム	売上高	14,000	－	13,500	－	▲500	▲3.6%	27,500	－	27,000	－	▲500	▲1.8%
	営業利益/率	500	3.6%	500	3.7%	－	－	1,300	4.7%	1,200	4.4%	▲100	▲7.7%
産業建設資材	売上高	15,100	－	15,600	－	+500	+3.3%	35,000	－	35,500	－	+500	+1.4%
	営業利益/率	700	4.6%	1,000	6.4%	+300	+42.9%	2,450	7.0%	2,750	7.7%	+300	+12.2%

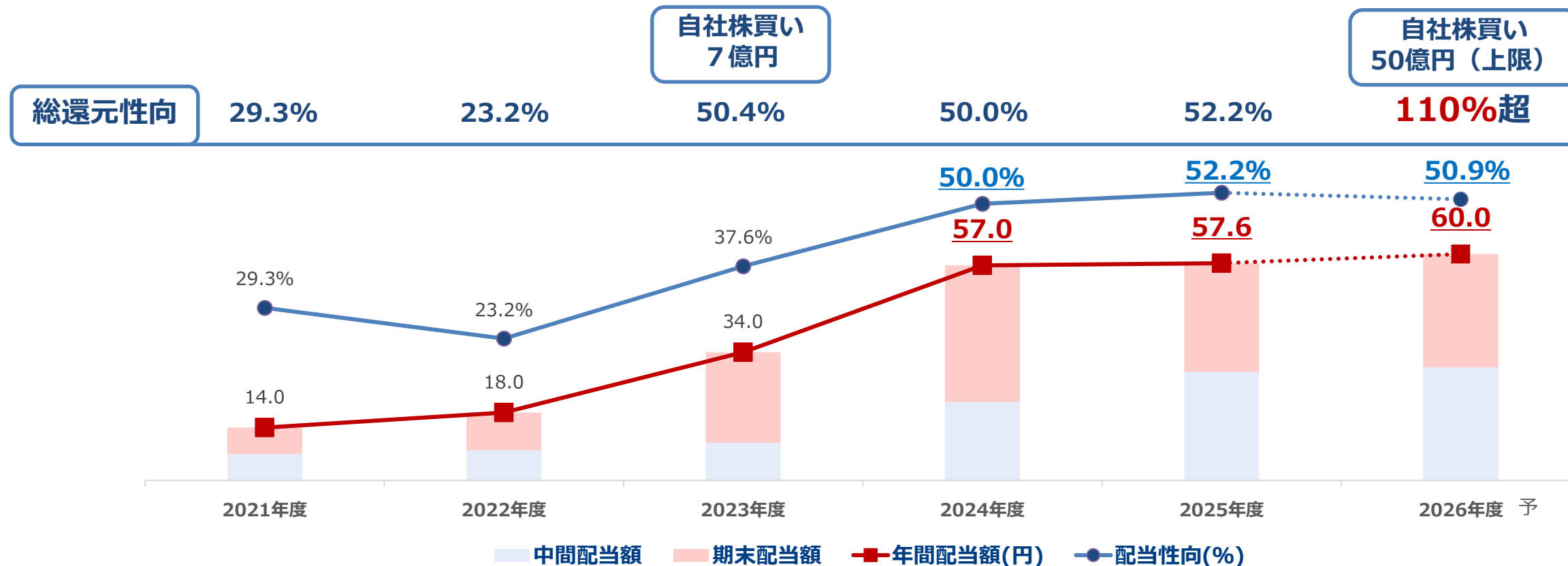
	対 前年実績	2025年度 上期実績 (A)		2026年度 修正 上期予想 (B)		増減額 (B－A)	増減率	2025年度 通期実績 (C)		2026年度 修正 通期予想 (D)		増減額 (D－C)	増減率
ライフライン	売上高	29,307	－	30,900	－	+1,592	+5.4%	65,960	－	68,500	－	+2,540	+3.9%
	営業利益/率	1,761	6.0%	2,100	6.8%	+339	+19.3%	4,732	7.2%	5,250	7.7%	+518	+10.9%
機械システム	売上高	13,836	－	13,500	－	▲336	▲2.4%	27,448	－	27,000	－	▲448	▲1.6%
	営業利益/率	739	5.3%	500	3.7%	▲239	▲32.3%	1,259	4.6%	1,200	4.4%	▲59	▲4.7%
産業建設資材	売上高	15,309	－	15,600	－	+290	+1.9%	34,717	－	35,500	－	+783	+2.3%
	営業利益/率	766	5.0%	1,000	6.4%	+234	+30.5%	2,404	6.9%	2,750	7.7%	+346	14.4%

トピックス

株主還元（自社株買い）

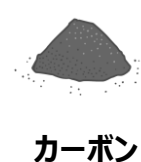
- ◆ 持続的な企業価値向上に向け次期中期経営計画で目指す資本効率向上を先行的に具体化し、ROE向上と株主価値向上を図る
- ◆ 自己株式を除く発行済み株式総数の5.4%（上限）を取得し、2027年1月29日に消却予定

- 取得する株式の種類：当社普通株式
- 取得する株式の総数：3,500,000株（上限）
- 株式の取得価額の総額：50億円（上限）
- 取得期間：2026年8月7日～2026年12月23日



- ◆ クリモトの連続式二軸混練機（KRCニーダ）は多種多様な材料製造プロセスを支え幅広い分野で活躍
- ◆ 二次電池メーカー向けはEV用途は停滞中も、再エネ、電力安定化、データセンターのバックアップ用途の需要が拡大中
- ◆ 将来のEV需要復調を見据え、協業による装置単体から高付加価値ソリューション事業への進化をめざす

➤ クリモト混練機の多様なニーズ



➤ 開発中：混ぜる技術を起点とし、連続生産ライン対応とAI最適化を組み合わせ、材料製造プロセス全体を支える事業へ進化

2024.2.20 リリース

NEW 2026.5.11 リリース

① クリモトのコア技術



KRCニーダによる
高度な混練・分散技術

- ✓ 電池材料などに求められる均一な混練に対応
- ✓ 長年培った混練技術を成長市場へ展開

② 連続生産ライン化への寄与



材料投入装置（フィーダ）に
強みを持つ(株)クボタ様との協
業で連続生産システムを構築

- ✓ 原料供給自動化により混練までを一体自動化
- ✓ 量産工程の効率化・品質安定化に貢献

③ AI・データによる高度化



(株)日立ハイテク様との協業で
条件最適化を目指す

- ✓ 混練データを活用し、最適条件を提案
- ✓ 品質安定化・予兆保全サービス領域へ拡大

単体装置から、電池材料づくりを支えるプロセスソリューションへ

参考資料

- 会社名 : 株式会社栗本鐵工所
- 創立 : 1909年2月2日 (明治42年)
- 所在地 : 大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号
- 上場証券取引所 : 東証プライム市場 (証券コード : 5602)
- 代表者 : 代表取締役社長 菊本 一高
- グループ会社 : 国内外22社
- 連結従業員数 : 2,238名
- 資本金 : 311億円
- 発行済株式総数 : 63,992,450株
- 株主総数 : 32,082名



菊本 一高

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

社会インフラ = 安定性

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。

売上比率

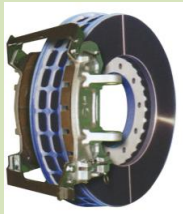
約50%

売上比率

約50%

産業設備 = 成長性

メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	電力ケーブル保護管 等のFRP(M)製品
 	 	 	 	 	 

事業部門の構成と主な製品②

事業 セグメント	主な事業 ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフライン セグメント	社会 インフラ 産業 設備	パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業体
		バルブシステム	水道用バルブ 産業バルブ	水道事業体、 製鉄・電力等各種プラント、 ポンプメーカー
機械システム セグメント	産業 設備	機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、 二次電池関連メーカー 他
			プラント エンジニアリング	プラントエンジニアリング企業
		素形材 エンジニアリング	耐磨耗鋳物 破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、 砕石関連企業
産業建設資材 セグメント	社会 インフラ 産業 設備	建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、 ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、 ゼネコン、フィルム関連メーカー

- ◆ 「四方よし」の精神で全てのステークホルダーの期待と信頼に応えることを、「経営理念/ありたい姿」に
- ◆ 「経営理念/ありたい姿」の実現にむけ、経営の考え方を「経営方針」として具体化

クリモトグループの経営理念/ありたい姿

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します

ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、
「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、
将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

国内本支店

本社（大阪）、東京、北海道、東北
名古屋、中国、九州

製造拠点

加賀屋、堺（パイプシステム）
住吉（バルブシステム、機械システム、素形材）
交野、古河（建材）
湖東、滋賀（化成品） 他

海外拠点

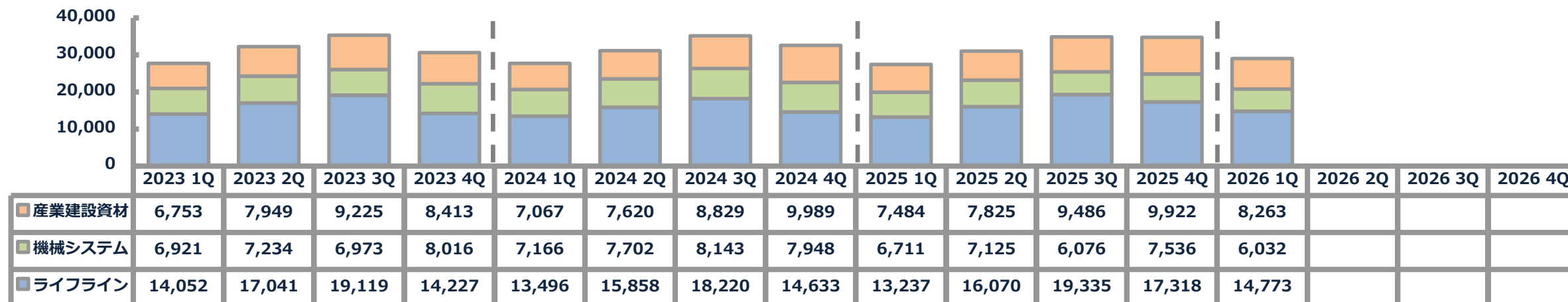
ヨーロッパ事務所（ドイツ）、
ジャカルタ事務所（インドネシア）



セグメント別 四半期業績推移（連結）

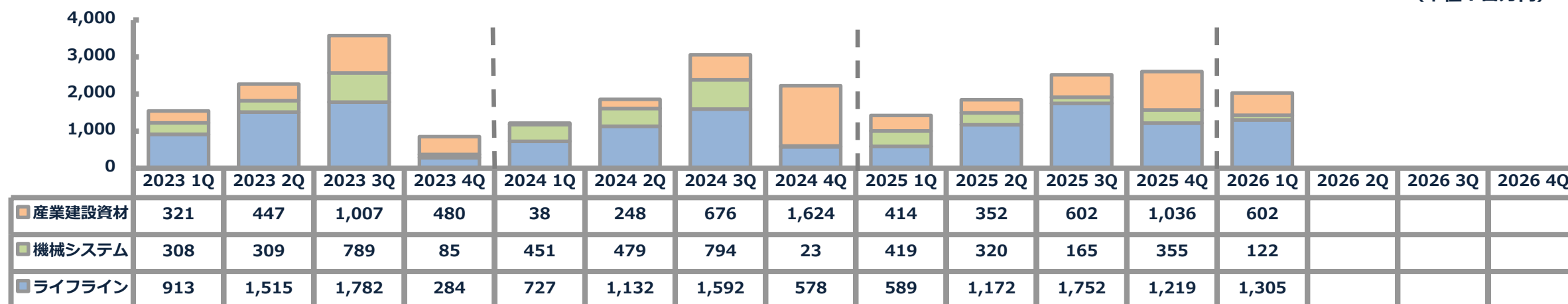
売上高

（単位：百万円）



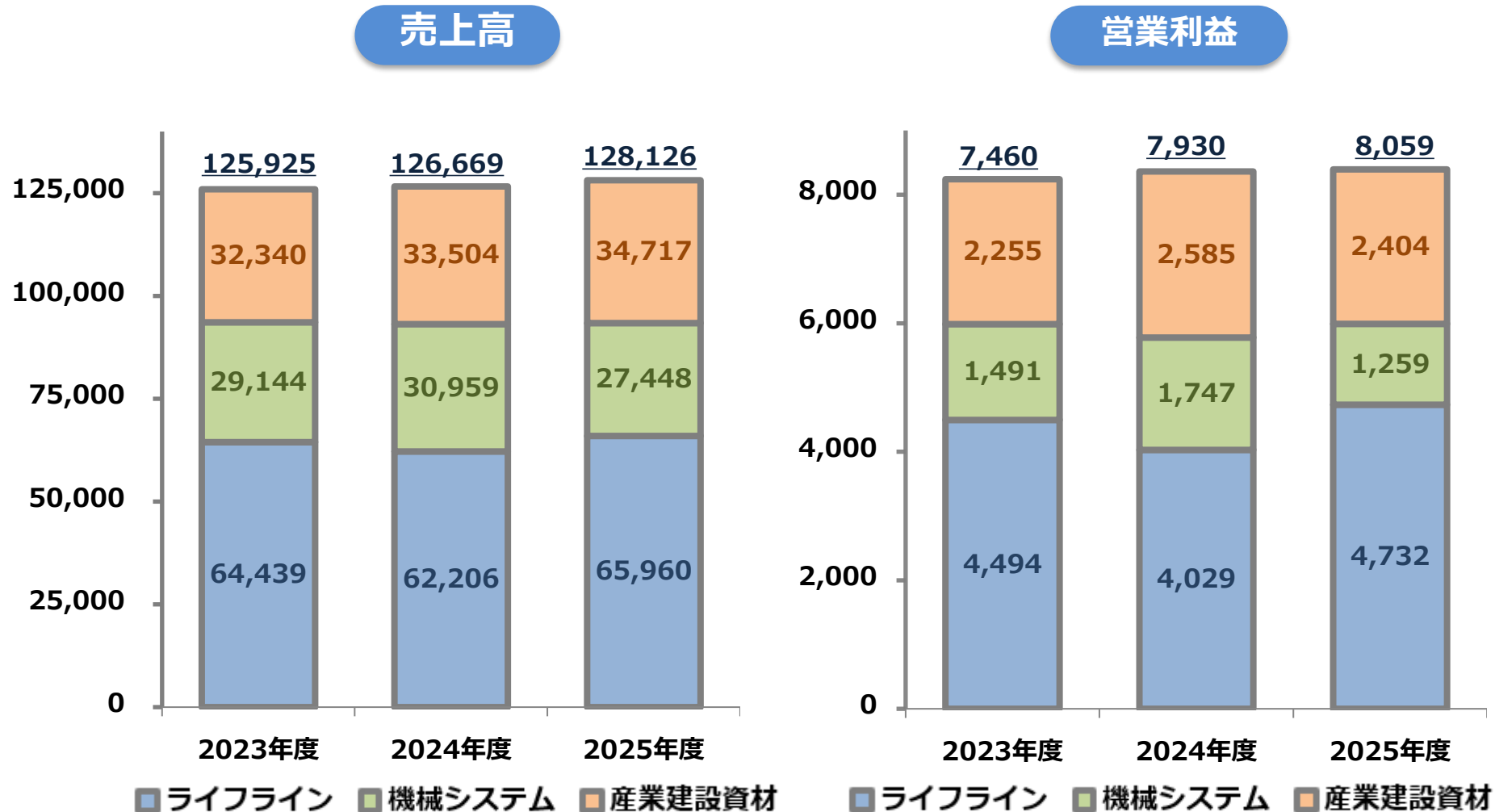
営業利益

（単位：百万円）

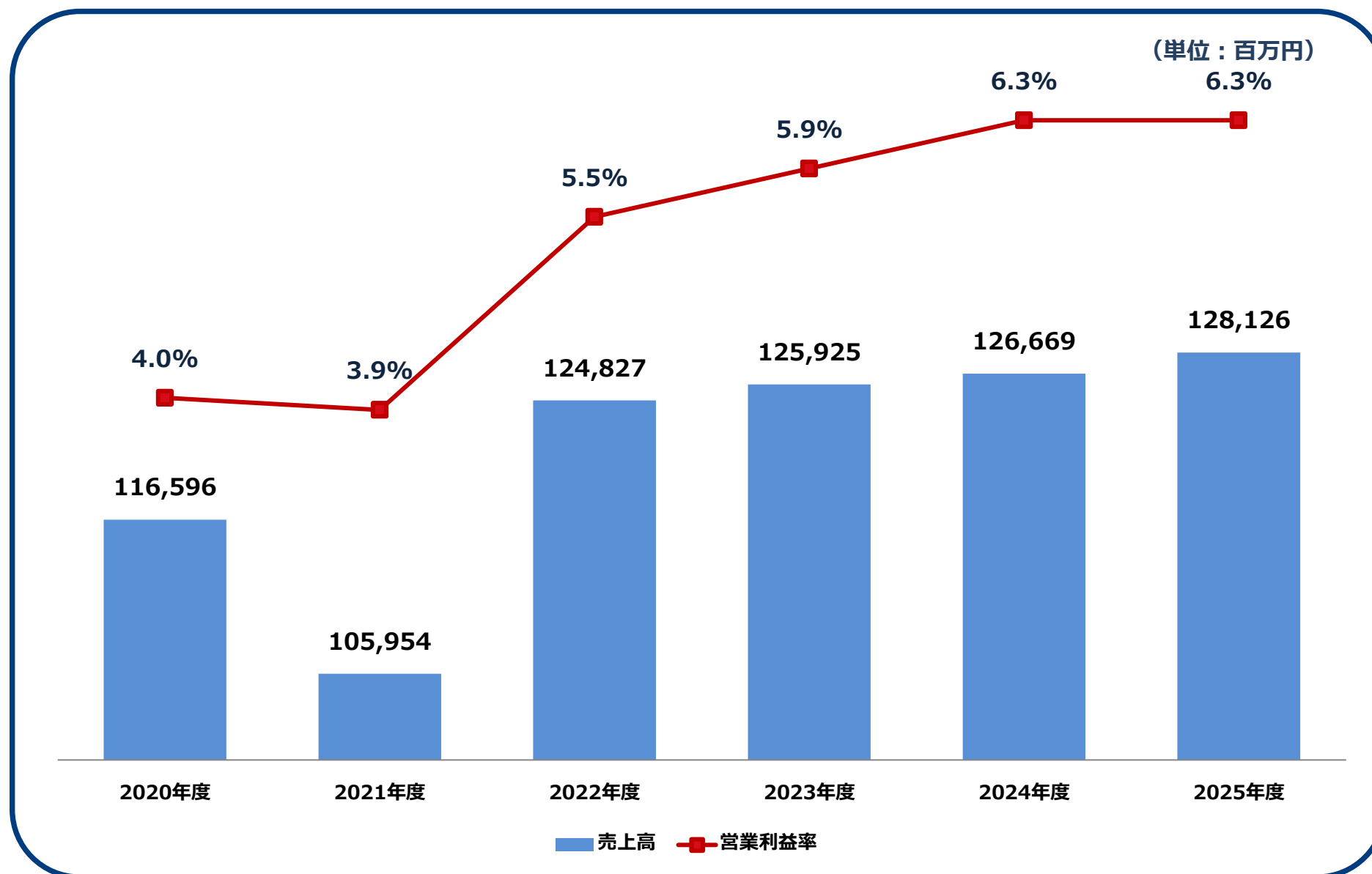


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。 23

(単位：百万円)



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。 24



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

KURIMOTO